

# 出前講義 2018 テーマ等一覧

学科	No.	講義テーマ	教員氏名
看護	1	ドクン・ドクン！心臓の音を聴いてみませんか	掃本誠治 教授
	2	やってみよう！バイタルサインのチェック	柴田恵子 教授
	3	高齢社会に求められる看護職の役割	生野繁子 教授
	4	看護職の仕事	福島和代 教授
	5	健康な人の看護について	福本久美子 教授
	6	プチ体験！看護師の仕事	山本恵子 教授
	7	子どもの成長と発達 ～子ども大人の縮小版ではありません～	二宮球美 准教授
	8	こころの働きと精神機能～こころの健康について考える～	緒方浩志 助教
社会福祉	9	今日の社会の特徴と社会福祉士の役割	豊田保 教授
	10	居住福祉が、必要な超高齢社会	西島衛治 教授
	11	人と社会の多様なあり方について考えてみよう	山本孝司 准教授
	12	生きることを“ケア”をする福祉	吉岡久美 准教授
	13	子どもの権利と社会的養護の関係	橋本眞奈美 専任講師
	14	介護の仕事を知ろう	馬場敏彰 専任講師
	15	社会福祉士・精神保健福祉士の仕事と魅力	平川泰士 専任講師
	16	障害のある人への差別の心は問題か？～障害者権利条約、障害者差別解消法をふまえて～	平川泰士 専任講師
	17	障害の正しい理解～発達障害を通して～	水間宗幸 専任講師
リハビリテーション	18	呼吸器リハビリテーションの実際と科学 ～呼吸循環機能向上のススメ～	大池貴行 教授
	19	スポーツと理学療法	二宮省悟 准教授
	20	体の骨とその役割について	岡田裕隆 専任講師
	21	高齢者の生活を支えるための理学療法士の視点	中野聡太 専任講師
	22	リハビリテーション分野で活躍する理学療法士	吉田勇一 専任講師
	23	脳の病気と理学療法士のかかわり	山本良平 助教
鍼灸スポーツ	24	心と身体のコンディショニングに有効な伝統医学（東洋医学）の知識	篠原昭二 教授
	25	高校生のためのツボ入門・・・スポーツ・健康・美容・・・	本田泰弘 教授
	26	鍼灸師というとても不思議で役に立つ仕事	田口太郎 准教授
	27	「どこでもお灸」のはなし	塚本紀之 准教授
	28	スポーツ特性と傷害予防	平崎和雄 准教授
	29	東洋の学問の特徴とその有用性について	内田匠治 専任講師
	30	ツボ刺激、運動による身体の調子の向上	浅井福太郎 専任講師
	31	アスリートのコンディショニングづくり	井手裕子 助教
口腔保健	32	歯周疾患の全身への影響を理解し、予防しましょう	金子憲章 教授
	33	生きる力を育む口腔のケア	石井里加子 准教授
	34	養護教諭という仕事と口腔保健	古賀由紀子 准教授
	35	口腔から健康格差を考える ～国際協力の現場から～	淀川尚子 准教授
	36	戦略的歯みがき指導 理論と実践	松尾文 専任講師
基礎※	37	法というものの考え方	野崎和義 教授

※基礎・教養教育研究センター

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 1 | ドクン・ドクン！心臓の音を聴いてみませんか

教授：掃本誠治／基礎看護学、医学一般

子供の頃、聴診器（ちょうしんき）で胸を診察されたことがあることと思います。看護師は五感を使って患者さんを観察し看護します。聴診器で自分のあるいはお友達の実際の心臓、肺の音を聴いてみて看護師の気持ちになってみませんか。（聴診器はこちらで準備し、T シャツの上から聴けます）

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 2 | やってみよう！バイタルサインのチェック

教授：柴田恵子／基礎看護学、生命倫理

看護師は「感覚器を備えた観察者である」という観点からバイタルサイン（生命兆候）の概要を知り、バイタルサインの観察の必要性と具体的な観察方法を実際に経験しながら学習します。生徒が生活でバイタルサインのチェックを取り入れ、自身の身体の状態、健康の維持について興味を持つようになれる内容です。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 3 | 超高齢社会に求められる看護職の役割

教授：生野繁子／老年看護学、家族看護学

超高齢者では病院はもちろん、施設・地域・在宅において、看護職に求められる役割が増大し、働く場も多様化しています。また、看護職は健康の側面から人々の幸福に寄与でき、しかも、一生涯働くことが可能な素晴らしい職業であることについて講義します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 4 | 看護職の仕事

教授：福島和代／成人看護学

高校1～2年生を対象に、看護職の仕事の内容や役割、やりがいについて講義します。特にこの超高齢社会を支えるのは看護職であることを理解していただきたいと思います。また専門学校や短期大学を卒業して3年で看護師になるコースと、4年制看護大学を卒業して看護師になるコースとの違い（看護大学で看護教育を受ける意義）について話します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 5 | 健康な人の看護について

教授：福本久美子／公衆衛生看護学、地域看護学

健康な人の看護を担う専門職として「保健師」という国家資格があります。保健師は行政や事業所、健康機関等で働いています。その仕事は予防の看護です。講義目的は、予防の看護の魅力を理解し、保健師という職業への関心を持っていただくことです。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 6 | プチ体験！看護師の仕事

教授：山本恵子／老年看護学、リハビリテーション看護

看護師とは？という仕事の楽しさ、そして厳しさと共に社会から求められる役割について説明します。その後、プチ看護師体験を実施し、看護師の理解を深めます。また、認知症理解などトピックスについても紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 7 | 子どもの成長と発達 ～子どもは大人の縮小版ではありません

准教授：二宮球美／小児看護学、家族看護学

小児看護学の対象となる胎児から思春期に至るまでの成長発達のプロセスを知り、その際にどのような環境提供が必要で、その時期において病気や障がいを持つことの意味と、家族への影響、それらを通して看護の役割を教授します（未熟児、新生児期のベビーモデルを用いた体験学習を行います）。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No. 8 | こころの働きと精神機能～こころの健康について考える～

助教：緒方浩志／精神看護学

みなさんは、こころの働きや精神機能について考えたことはありますか。こころも身体とともに成長・発達します。特に思春期は、他者との関係や将来のことなどたくさんの悩みを抱えたり、傷付きやすかったり、アイデンティティを確立する時期です。こころ(mind)について一緒に考え、こころの健康について学べる講義です。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.9 | 今日の社会の特徴と社会福祉の役割

今日の社会は少子高齢社会と表現されています。また、格差社会や成熟社会と呼ばれたりもします。皆さんとの社会の特徴を考え合みましょう。社会の特徴は人々の生活課題を生み出します。少子社会は女性の働き方について、高齢社会は介護のあり方についての課題です。そこで、社会福祉士の役割についても考え合しましょう。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.10 | 居住福祉が、必要な超高齢社会

教授：西島衛治/居住福祉、バリアフリー、ユニバーサルデザイン

近年、地域共生社会や地域密着型福祉など超高齢社会に向かって福祉の在り方も変わりつつあります。制度やシステムなどのソフト面だけでなく、その受け皿になる地域で暮らせる住居の課題が注目されてきています。その住環境の整備方針についてお話します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.11 | 人と社会の多様なあり方について考えてみよう

准教授：山本孝司/教育哲学

年齢、性別、国籍、人種、障がいの有無等に関係なく、誰もが排除されることなく自分らしくいける社会をどのようにして創っていくか、高校生のみなさんと一緒に考えたいと思います。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.12 | 生きることを“ケア”をする福祉

准教授：吉岡久美/看護学、生活支援

“ケア”がつく言葉には、ヘルスケア、医療ケアといった専門的なものから、ヘアケアやスキンケアといった日常的なものがあります。このように、“ケア”とは「世話」「手当て」「支援」という広い意味合いがあります。生命の誕生から死を迎えるまで何かしらのケアとかかわりあいながら生活をしています。そこで、この講座では生活に密着したケアとしての介護や福祉専門職について、医療的な視点から学んでいきます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.14 | 子どもの権利と社会的養護の関係

専任講師：橋本真奈美/障害学、家族福祉

子どもは、護られる存在である受動的権利と、子どもであっても一人の人間として主体的に重きを置く能動的権利の二つの権利を持った存在です。しかし近年、子どもに関する問題の中には「虐待」といった権利が阻害されている状況が存在します。権利が護られていない子どもに対する社会的養護の必要性について皆さんと考えていきます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.15 | 介護の仕事を知ろう

専任講師：馬場敏彰/介護福祉、生活支援

「介護って何?」「どんな仕事?」素朴な疑問にお答えします。今の社会に最も必要な「介護」、少しでも一緒に考えてみませんか?決して、他人ごとではない時代が来ています。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.15 | 精神保健福祉士・社会福祉士の仕事と魅力

専任講師：平川泰士/  
障害者福祉、ソーシャルワーカー養成教育

両資格は近年活動領域が広がっており、イメージされがちな福祉施設以外にも多岐に亘っています。専門職としての理念、視点を通して、基本的な業務と活動の場、ソーシャルワーカーの魅力を理解します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.16 | 障害のある人への差別の心は問題か?～障害者権利条約、障害者差別解消法をふまえて～

専任講師：平川泰士/  
障害者福祉、ソーシャルワーカー養成教育

「介護って何?」「どんな仕事?」素朴な疑問にお答えします。今の社会に最も必要な「介護」、少しでも一緒に考えてみませんか?決して、他人ごとではない時代が来ています。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.17 | 障害の正しい理解～発達障害を通して～

専任講師：水間宗幸/発達臨床心理学

さまざまな「障害」を持つ人たちは、私たちの身の回りにたくさんいます。彼らの力になりたいと考える場合、第一歩は正しい理解です。障害とはいったい何か?特に通級学級の中に6.5%は在籍していると考えられる最も身近な発達障害を含め、障害の正しい理解とその接し方について、みんなで考えていきたいと思います。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.18 | 呼吸リハビリテーションの実際と科学 ～呼吸循環機能向上のススメ～

教授：大池貴行 / 内部障害理学療法学

呼吸リハビリテーションは、呼吸障害をもつ方に対して、日常生活において「楽に息ができる」よう運動療法や呼吸コントロールなどの治療を行っています。本講座は、その実際を紹介するとともに、呼吸調整や息切れメカニズムの科学を通して、スポーツ領域、特に部活動のトレーニング方法を考える機会を提供します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.19 | スポーツと理学療法

准教授：二宮省悟 / スポーツ理学療法学

現代スポーツ(サッカー、野球、その他)を例に挙げ、怪我をした方への治療に関して、メディカルスタッフの中で理学療法士がどのように関わっているかを、実際の動画や写真を用い、分かりやすく述べます。さらに、様々な病気に対して、リハビリテーション分野の側面から理学療法士が担う役割についても説明します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.20 | 体の骨とその役割について

専任講師：岡田裕隆 / 手足(運動器)の解剖学

骨は毎日一緒である体の一部なのに名前がわからない。また体の中でどのように動いているかもよくわからない。しかし、その気になれば理解することは大変なことではありません。私達の骨は生活に非常に都合よく作られており感心させられます。講義では大学生が解剖学で習う手足の代表的な骨の名称と機能について学習します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.21 | 高齢者の生活を支えるための理学療法士の視点

専任講師：中野聡太 / 高齢者の理学療法

2025年に団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、65歳以上の高齢者人口は約3500万人に達すると推計されています。未曾有の高齢化が待ち受ける中、地域における高齢者の暮らしを支えるために理学療法士の活躍が期待されています。そこで、理学療法士が地域で高齢者を支えていくための知識や技術について紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.22 | リハビリテーション分野で活躍する理学療法士

専任講師：吉田勇一 / 理学療法、小児疾患

リハビリテーションチーム、主に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について概説します。理学療法士が専門としている姿勢や動作に関する理解を深めるために、病気や怪我により不自由になった日常生活について実演を交え解説します。大学での学修と学生生活から理学療法士国家試験合格まで「道のり」について紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.23 | 脳の病気と理学療法士のかかわり

専任講師：山本良平 / 理学療法学、中枢神経疾患

脳の病気を患うと手足が思うように動かせなくなり、歩くこともままならなくなります。講義では脳のはたらきや病気についてわかりやすく説明し、そのような病気の患者様と理学療法士のかかわりについてお話しします。また、学生生活や理学療法士になるまでの過程についても紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.24 | 心と身体のコンディショニングに有用な伝統医学(東洋医学)の知恵

教授：篠原昭二 / 鍼灸医学

大きなストレスを受けると胃の具合が悪くなり、それが引き金となって口内炎、顎関節症、膝関節前面の痛みや水腫、胸やけが起こりやすいが、東洋医学では当然の結果であっても、現代医学では必ずしも相互の関連性は明確ではありません。2千年来経験的に伝承されてきた東洋医学の知恵と最近のエビデンスを紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.25 | 高校生のためのツボ入門・スポーツ・健康・美容・

教授：本田泰弘 / 鍼灸医学 (スポーツ鍼灸、美容鍼灸)

スポーツ活動を行う上で、日頃から気になっている症状を経穴(ツボ)を用いて解消する方法を解説します。経穴(ツボ)に軽く触れるのみで、体の各関節の動きが柔軟になり競技能力が向上します。またケガをしにくくなり、痛みも和らいでくることが知られています。日常の健康と美容に役立つ経穴(ツボ)の知識も紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.26 | 鍼灸師というとても不思議で役に立つ仕事

准教授：田口太郎 / 鍼の国際標準化・災害鍼灸

鍼灸師という仕事、日本ではほとんど認知されていません。実は欧米各国をはじめ、アフリカや南米に至るまで、国境を越え世界中で重宝されている職業なのです。はりとおきゅうでいったい何ができるのか、不思議な理由、これからの日本にとっても貢献できる理由をわかりやすく学びます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.27 | 「どこでもお灸」のはなし

准教授：塚本紀之 / 鍼灸医学

お灸と聞くと、熱い、おじいちゃん、おばあちゃん…などという印象があると思いますが、最近、開発した「火を使わずに温まるお灸」を使って、スポーツのコンディショニングに使ってみませんか？

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.28 | スポーツ特性と傷害予防

准教授：平崎和雄 / スポーツ医科学

スポーツは老若男女問わず親しまれている。スポーツをする目的は競技、教育効果、健康維持増進、疾病予防、介護予防など様々である。それぞれの目的でスポーツを楽しむ裏には、スポーツ傷害がある。スポーツ種目、目的などの違いによる怪我や病気を防ぐにはどうしたら良いか？を紹介しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.29 | 東洋の学問の特徴とその有用性について

専任講師：内田匠治 / 鍼灸医学、東洋医学

中国を中心とした東洋における学問は実学を重視し、西洋の学問とは異なる発展をしてきました。その最大の特徴を一言でいえば、「気」という概念を導入している点になります。現代科学では未解明な部分も多い、「気」の学問の特徴と現代社会における有用性について紹介しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.30 | ツボ刺激、運動による身体の調子の向上

専任講師：浅井福太郎 / 鍼灸医科学、健康運動指導

良好な身体のコンディショニングの中、勉強や部活動を取り組んでいますか？身体に不調が生じると、身体のツボにも特徴的な反応が現れます。ツボ押しやストレッチ等の身体への刺激をすることで身体をリフレッシュする方法を紹介しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.31 | アスリートのコンディショニングづくり

助教：井手裕子 / アスレティックトレーニング

競技スポーツの競技力向上を図るために、スポーツ医科学のエビデンスをもとにした手法で、スポーツドクター、監督、コーチまたは栄養士などの専門家とチームとなり、アスリートのコンディションを整え、フィジカル面及びメンタル面からのサポートを行うための学習を行います。

## 口腔保健学科

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.32 | 歯周疾患の全身への影響を理解し、予防しましょう

教授：金子憲章 / 歯周病

年をとっても自分の歯で食事することは、生きていく重要な楽しみです。歯周疾患は若いうちから、予防することが重要です。歯周疾患の全身への影響を知ることのできる怖さを知り、予防を一緒に考えましょう。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.33 | 生きる力を育む口腔のケア

教授：石井里加子 / 障害者歯科、口腔保健、歯周病管理

歯や口の健康は、人の生命・生活・人生(QOL)に深く影響していきます。また、口の中を観察すると、その人の体調や生活が見えてきます。自身の歯と口の状態を知り、適切なケア方法を身に着けることは“生きる力”の源となります。本講義では歯科臨床でのエピソードを交え、歯と口の健康の大切さをお話しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

## No.34 | 養護教諭という仕事と口腔保健

准教授：古賀由紀子 / 学校保健

養護教諭は、小・中・高・特別支援学校に配置され、通常保健室を中心に仕事をしています。これまでに皆さんは、応急処置、健康診断、健康相談など、何らかの形で養護教諭と関わりを持ったことがあると思われるかもしれませんが、子ども側からの立場ではわからない支援者としての養護教諭の職務の概要を紹介しします。また、口腔保健を学ぶことで養護教諭にどんな力が身につくか、についても考えます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

### No.35 | 口腔から健康格差を考える～国際協力の現場から～

准教授：淀川尚子/口腔保健、地域保健

世界には、難民、都市部スラムや農村部の貧困層とさまざまな社会的弱者が暮らしています。同じ人間でありながら、私たちと違った困難を強いられており、健康格差の是正は重要課題のひとつです。これまでに世界ではさまざまな支援が展開されましたが、格差はますます拡大しています。口腔から健康格差の問題について考えてみましょう。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

### No.36 | 戦略的歯みがき指導 理論と実践

専任講師：松尾文/口腔衛生

「歯科保健指導」は歯科衛生士の3大業務の一つです。歯科保健指導では、歯みがき指導や食生活指導、健康教育、動機づけなどが行われますが、人の行動を変えるのは簡単なことではありません。本講義では行動変容の理論を紹介しながら、歯科衛生士がどう戦略的に歯みがき指導を実践するのか、一緒に考えていきます。

基礎・教養教育研究センター

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

### No.37 | 法というものの考え方

教授：野崎和義/法学

社会で生き抜く力を身につけることを目標とします。具体的には、悪質商法、ローン・クレジット、アルバイト、ドラッグをめぐる問題点とその解決の指針を教授します。